

3巡目

四国あ るき遍 路の旅



一本杉庵にて

平成29年2月17日～19日
臨済宗妙心寺派 圓福寺

Title: 18番恩山寺

Date: 2017/02/17



恩山寺本堂前にて

三順目第一回での、東京から夜行バスという暴挙を反省して、今回からはこれまで通り、早朝の羽田発の飛行機となりました。

二日目に焼山寺という難所を控えてはいるものの、初日は恩山寺と立江寺の平場だけなので、なんとなく気持ちにも余裕があり、バスに乗ったり、電車に乗ったりと、遠足気分でした。小学生なら、引率の先生が忘れ物がないかチェックしてくれますが、大人の遠足はすべて自己責任・・・、でも、四国もコンビニがあちこちにできて、多少忘れ物があってもなんとかなります。ちなみに、お昼のお弁当もコンビニで調達できるようになって、あるき遍路もずいぶん楽になりました。

コンビニに行くと、ありましたありました、四国名物の「ばくだん」おにぎり。コンビニで郷土色も感じる事ができるのでした。

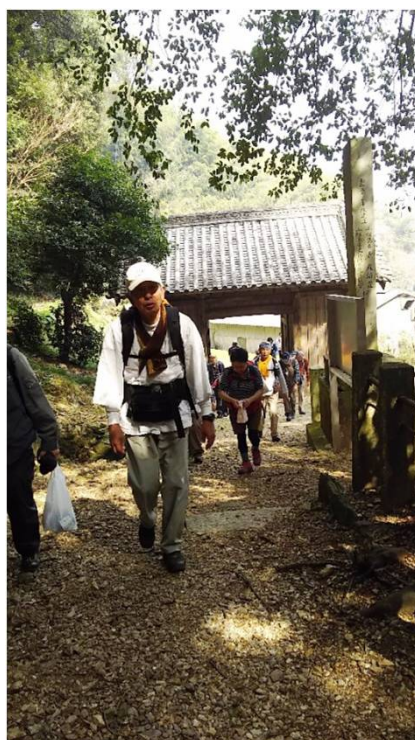
お大師さんのお尻に迎えられ

恩山寺の山門をくぐると、いかにも遍路道といった感の参道を通ります。すぐ隣に車道が整備されていて、落ち葉だらけの参道を通るお遍路さんもないのでしょうか。伽藍にたどり着く前の大きな大師像も、車道からやってくる遍路たちを迎えるように立っています。つまり、歩きのお遍路さんたちは、お大師さんの後ろ姿、おしりにむかえられることになります。

参道のわきに、「ビランジュ」という珍しい木がありました。それに気づいたのは、さすが植木屋さんの神山さん。お参りのあとに、また見に行っていました。

「ビランジュ（毘蘭樹）」は別名で、「バクチノキ」だそうです。樹皮がうろこ状に剥がれ落ち、黄赤色の木肌が見えるさまが、ばくちに負けて身ぐるみはがされるのにたとえて、「博打の木」といいます。

博打に負けてお寺に逃げ込んだ人が、助けてもらってお礼に植えた・・・わけではありません。



恩山寺参道



後ろ姿のお大師さん

Title: 18番恩山寺

Date: 2017/02/17



恩山寺参道「プチ難所」



弘法大師母堂ゆかりの寺



恩山寺の山号は、「母養山」といいます。弘法大師がこの寺で修行をしていたところに、大師の生母・玉依御前が讃岐の善通寺から訪ねてきた。だが、寺は女人禁制、大師は山門近くの瀧にうたれて17日間の秘法を修し、女人解禁の祈願を成就して母君を迎えることができた。やがて母君は剃髪をして、その髪を奉納されたというので、山号になったといわれています。大師堂の右手前に、「弘法大師御母公御剃髪所」という石碑が建っていました。

母親への思いを新たにし、母に恥じない生活をしているか自問するお寺かもしれません。



摺袈裟有？

本堂に変わった看板を見つけました。「すりげさあり」とお読みするのでしょうか。

袈裟に梵字の陀羅尼を摺ったお守りのことだそうで、身につけておくと「滅罪生善」の功德あり。

旅の記録

	期日	曜日	コ ー ス 予 定						食事・宿泊
1	2月17日	金	7:10発	JAL453	8:30着	8:40発	【空港リムジン】	9:08着	【歩く距離】約12.1km
			羽田空港		徳島空港			徳島駅	昼食は、中田駅下車後にコンビニで購入し、道中食べます。
			10:09発	《JR牟岐線》	10:24着	10:30発	一徒歩一 約3.5km	11:30着	
			徳島駅		中田駅			18番恩山寺	
			昼食	12:30発	一徒歩一 約4.0km	13:30着		14:00発	
			18番恩山寺			19番立江寺		一徒歩一 約0.5km	
2	2月18日	土	14:10着	14:13発	JR牟岐線・徳島線 徳島駅乗換	15:15着		15:20発	宿泊：旅館吉野 徳島県吉野川市鴨島町天神の 0883-24-1263
			立江駅			鴨島駅		一徒歩一 約3.6km	
			16:20着	16:50発	一徒歩一 約0.5km	17:00着			
			11番藤井寺			「旅館吉野」			
			6:00	7:00発	一徒歩一 約0.8km	7:10通過	一徒歩一 約3.2km	8:40通過	
			朝食	「旅館吉野」		11番藤井寺		長戸庵	
3	2月19日	日	一徒歩一 約3.4km	9:40着	10:00発	一徒歩一 約2.2km	10:40着	11:00発	【歩く距離】約17.9km
			一徒歩一			一徒歩一	12:50着		
			約1.6km	左右内集落（昼食）		約2.5km		12番焼山寺	
			一徒歩一	15:30着		【タクシー】	16:40着		
			約3.4km	焼山寺バス停			小松島「みどり旅館」		
			6:30	7:00発	一徒歩一 約0.3km	7:37発	【徳島バス】	8:23着	
3	2月19日	日	朝食	旅館出立		南千歳橋バス停		棚野バス停	【歩く距離】約10.6km
			一徒歩一	9:35着	10:15発	一徒歩一	11:20着		
			約3.1km		20番鶴林寺	約2.5km	大井休憩所（昼食）		
			一徒歩一	13:00着	13:30発	《0-7 11》	14:30着	【タクシー】	
			約4.2km		21番太龍寺		鷺の里駅		
			16:33発	《JR牟岐線》	16:59着		17:15発	【空港リムジン】	
3	2月19日	日	JR桑野駅			徳島駅			【歩いた距離】約40.6km
			17:43着	18:45発	ANA286便	20:00着			
			徳島空港			羽田空港			

Title: 19番立江寺

Date: 2017/02/17

悪童たちの抜け道

恩山寺から立江寺へのへんろ道は、牛小屋の鼻先からはじまり、竹林の中、あぜ道、民家の軒先・・・と、まるで子どものころに近所の子どもたちと一緒に、仲間同士の内緒の近道をしたような道です。「〇〇さんちの畑の柿がうまいんだ。」とか、「この先に秘密のアケビの木があるんだ。」「これは梅じゃなくてスモモだ。熟したらうまいぞ。」なんて、悪童たちの声が聞こえてきそうでした。



雨具の予行練習？

牛小屋の山を越すと、ぽつりぽつりと雨。空を見て、合羽を出そうかどうしようか？ここで雨支度をしていたら、みんなから遅れるし、などなどいろいろ考えます。少し待ってあげることにして、各自雨支度をしてもらいましたが、幸いに本降りにならず、雨が降った時の予行練習で終わりました。



新勘定奉行

これまで、雨海さんに、納経帳と会計係をお願いしていましたが、今回から、平山さんが勘定奉行に就任しました。

【左】お参りもそこそこに、出納帳を気にする新勘定奉行の平山さん。



Title: 11番藤井寺

Date: 2017/02/17



十一番藤井寺は、八十八ヶ所中ニヶ寺ある臨済宗妙心寺派のお寺の一つです。二日目の焼山寺へのへんろ道の登り口は、本堂の左手です。



難所目前

19番立江寺から電車で徳島線鴨島駅に移動。11番藤井寺までは駅からはたかだか3.6kmぐらいなのですが、明日の焼山寺への歩きを思っ
てか、長く感じられました。田んぼの中のへんろ道を行くと、藤井寺近くの建設業者さんの作業場に椅子とテーブルが用意してあり、お接待所になっていました。みかんをいただいていると奥から、「足りますかー？」と声をかけてもらいました。

藤井寺をお参りして、今日の宿は、二巡目でもお世話になった「吉野」さん。三か所もある浴室の好きな場所に入り、豪華な夕食と焼酎「鳴門金時」で、明日の無事を祈ることにしました。

翌朝、出発時間前から宿の前に出て、ストックを準備したりして、全員やる気満々の様子でした。天気もなんとか大丈夫そうで、いざ出発です。

Title: 焼山寺へのへんろ道

Date: 2017/02/18

藤井寺を出発して急坂を登りきって、「端山休憩所」、さらに登って、「長戸庵」。雨戸が閉め切られた柳水庵の下の休憩所で一休。ここから再びの登り。



焼山寺へのへんろ道のオアシスだった「柳水庵」がすたれていくのはさびしい限り！ 隠居したら住みたくなるような山寺です。就活しようかなあ。



昼食は左右内集落に降りたところに東屋があるからと思っていたら、鶴林寺と太龍寺の間にある水井の休憩所と思い違いをしていて、結局、森の中に散在して冷たいおにぎりをほおばることに…。申し訳ありません。

誰が整備したのか馬の背のへんろ道。昔は「一本杉庵」って言った、今日の最高地点七四五mの「浄蓮庵」、大きな大師像がお出迎え。残雪は見当たらず。

Title: 12番焼山寺

Date: 2017/02/18



七時十分藤井寺出発。八時四十分長戸庵まで、六五二二歩。柳水庵九時三十五分、一一五六四歩。十時四十分一本杉庵(浄蓮庵)着。十二時五十分、十二番焼山寺着。二二〇三三歩。なお、歩数は神山さんの歩幅によります。

お参りを終わると、神山さんが靴の修理を始めました。先輩遍路の広渡さんが、紐で縛って応急処置を手伝ってあげていました。ご主人譲りの親切さを発揮かな・・・。



アドバイスなのか、お説教なのか、はたまた自慢なのか、神妙に聞く神山さんでした。

いざ出発ですが、ここから約一時間の長い下り坂となります。



Title: 小松島

Date: 2017/02/19



【左】みどり旅館会館。【右上】夕食。名物ちらしずし、鯛のかぶと煮、刺身など。【右下】朝食。小松島名産の「竹ちくわ」もついていました。

小松島の思い出

焼山寺の麓からタクシー一分乗で、小松島の「みどり旅館」に直行することに変更したので、予定より二時間もまえに旅館に到着できました。

30年以上前、一人で四国遍路をしたときには、和歌山港と小松島港をつなぐ南海フェリーがあり、四国の地に足を踏み入れたのが小松島でした。折から海は荒れていて、船底に叩きつけられるような揺れに驚かされつつ、ようやく小松島の港に降り立ったのでした。

フェリーはすでに廃止されたようですが、「みどり旅館」の前の道が港に続く通りだったというのですから、30年以上前に私も歩いたのかもしれない。記憶にはありませんが、懐かしさを感じた小松島でした。

「ひやり、路線バスの旅」

小松島に宿を取ったのは、鶴林寺の麓に行く路線バスの都合でした。なにしろ朝のバスを逃したら、二時間も待たなければなりません。昼食をコンビニで購入して、そうそうにバス停で待つことにしました。ところが、時間になってもバスは来ません。まあ、田舎だからのんびりしてるんだろうとは思いつつも、しびれを切らした人が問い合わせ先に電話をすると、日曜日でお休みとのこと。

どうしようか思案していると、反対側から走ってきたバスが、いきなり交差点でUターンして、私たちのバス停にやってきました。「すみませ〜ん。」と若い女性の運転手。曰く、道を間違えて駅の方に行ってしまい、私たちのバス停の一つ先まで行って、通り過ぎたバス停にお客さんがいないか確認すると、私たち一行がいたのであわてて戻ってきたとのこと。昨日、彼氏とけんかでもしたんじゃないのとか、さんざんからかわれて、にぎやかな車内となりました。

気づいて戻ってきてくれたからいいものの、そのままにされたら私たちは途方に暮れることになった、「ひやり、路線バスの旅」でした。



Title: 20番鶴林寺

Date: 2017/02/19



鶴林寺裏街道

鶴林寺への今回の道は、通常の生名からではなく、少し先の棚野バス停からの裏街道を歩くことにしました。この方が、歩く距離2.2kmと少し短く感じたからです。川沿いの100mほどを過ぎると、あとは標高差460mほどのひたすら登りです。どっちが良かったかは、「？」

裏街道だけあって、いきなり鶴林寺の仁王門が山道の先に出現するといった感じでした。【左の写真】

Title: 21番太龍寺

Date: 2017/02/19



【右】山中、本當につらい時には、写真を撮る余裕なんかありません。珍しくきつそうなところをバチリ。【左】水井橋（すいせいし）をハイキングのように歩いて、太龍寺を目指します。



遍路、山あり谷あり

鶴林寺でお参りを終え、境内から杉木立の向こうに海が見えたのにはうれしくなりました。こんなに登ったのかと、喘ぎながら登った自分をほめたくなったからかもしれません。さて、太龍寺へはここを下りなければなりません。足元につづく段差の大きな石段を見て、なかなか足が踏み出せないほど、鶴林寺の下りの石段のきつかったこと。あの山中に石段を組む労力とはとてもないことですが、せめてもう少し段差を低くしていただければ・

と思うのは、私だけでしょうか？いえいえ、かつては飛ぶように下りられたのですから、加齢と膝の痛みがそう思わせるのです。

ようやくにして、下りきったところにある大井の休憩所には、テーブル・ベンチはもちろん、ソファまで置いてあり、快適にランチタイム。那賀川を渡って、しばらく溪流沿いの道を行います。山の登り口にお屋敷の廃墟があり、かつてこの山奥にどんな人がどんな生業をして生活していたのか、興味がわきます。昔の歩き遍路が、もしかして一宿のお願いをしたかもしれないとの思いを麓に残して、ここからは山中の登り470mほど、鶴林寺と太龍寺を合わせて、この日は930m登ったことになります。

鶴林寺への急な登りと、石段の急な下り、大井休憩所の居心地の良さなど、人生、山あり谷あり。あるき遍路も、加齢に伴うつらさがあったり、逆に年に見合った喜びがあたり、「人生即遍路」とはよく言ったものだ、これからも遍路は続くのでした。



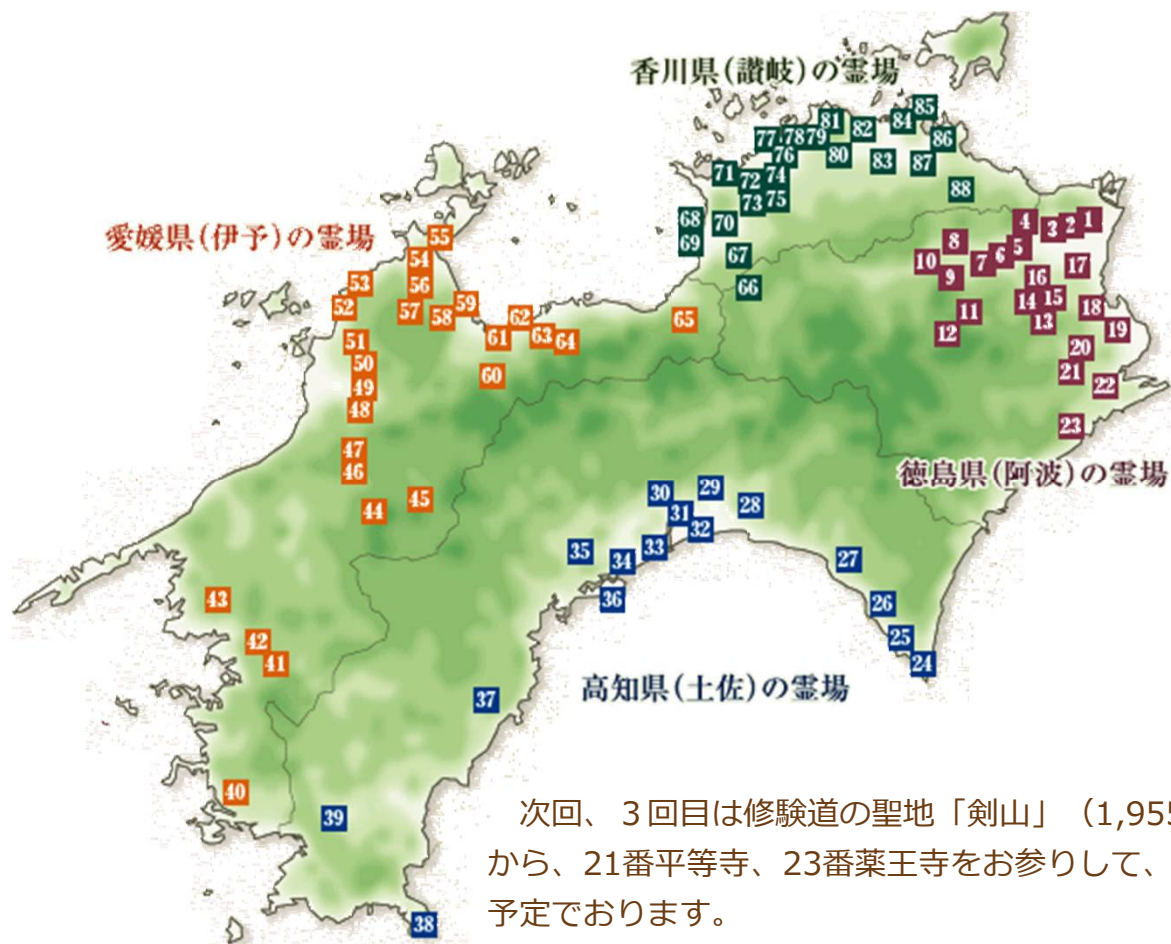
桑野駅

桑野駅から帰路となりましたが、列車が来るまでの時間を利用して、整理体操でしめくくり。



次回の予定

2017/11/17~11/19



次回、3回目は修験道の聖地「剣山」(1,955m)に寄ってから、21番平等寺、23番薬王寺をお参りして、高知県に入る予定であります。

あとがき

二回のあるき遍路を終えて、もう新年度になってしまいました。3月になって春のお彼岸、幼稚園の卒園式、冬の寺子屋など、例年通りの忙しさ。その合間を縫ってちょこちょこ編集した写真集です。3巡目ともなると、記録も記憶もいいかげんになると思って、この冊子は趣を変えることにしました。

ところが、3巡目ともなると、今までの記

憶や経験をたよりにするところがあり、2日目の昼食の場所にはあそこ休憩所があるなんて思い込んでいて、とんでもない森の中での昼食となり、申し訳ありませんでした。3日目の大井の休憩所との記憶違いでした。経験からくる思い込みは恐ろしいと改めて思いましたので、以後、気を付けます。

この写真集をご笑覧の上、次回への期待と準備をよろしくお願いいたします。

住職手作りのわらじです。2回目でこんな感じになります。さて、何回目まで使えるでしょうか？



圓福寺 四国あるき遍路の旅
3 巡目第2 回写真集



平成29年2月17日～19日